

○ 委員長報告

6月定例会本会議で報告された総務企画国体委員長報告は、以下のとおりです。

平成27年6月定例会

総務企画国体委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、地方分権改革に関する国への提案募集についてであります。

このことについて一部の委員から、昨年度から導入された国への提案募集制度について、今年度の提案状況はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、この制度は、国の地方分権改革有識者会議で決定された「地方分権改革の総括と展望」を受けて、事務・権限の移譲や規制緩和に関する地方の意見を広く汲み取る制度として創設されたもので、今年は3月から募集が開始され、6月10日が募集締切であった。

今年の提案の状況は、全国の自治体から、334件の提案が提出され、関係省庁において今後内容が精査されることになっている。

本県の提案は、単独提案の6件と四国各県の提案のうち本県も賛同して共同提案した10件の計16件が検討の対象とされており、主なものは、第一種感染症指定医療機関の設備費補助に関して初年度設備のみでなく、機器や備品購入にも拡充する提案や地域公共交通確保維持改善事業費補助金について、車両購入費補助が5か年の分割となっている補助要件を一括補助へ緩和する提案などである旨の答弁がありました。

第2点は、「愛媛サイクリングの日」のコンセプトと自転車新文化の推進についてであります。

このことについて一部の委員から、県では、自転車新文化を推進しているが、今後どのように取り組んでいくのか。

また、「愛媛サイクリングの日」の基本コンセプトや面的取組みをどう考えているのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、本県では、自転車を通じて新しいライフスタイルを県内外の多くの人々に提案することにより、交流人口の拡大による観光振興や実需の創出、地域の活性化を図り、サイクリングパラダイス愛媛の実現に向け

て取り組んでいきたいと考えている。

また、「愛媛サイクリングの日」の県の取組みとしては、広域連携イベントの実施やJRへのサイクルトレイン運行区間拡大に向けた働きかけ、当日の安全対策として、ラジオによるカードライバー等に向けたシェア・ザ・ロードの啓発を実施することとしており、市町においては、より多くの住民の方々に参加していただけるよう創意工夫を凝らした取組みを検討しているところである。

今後、愛媛サイクリングの日推進協議会（仮称）を設置し、幅広い意見を反映させながら、イベントの開催やサイクリストへのおもてなしなど、一人でも多くの県民にサイクリングに親しんでもらえるよう、オール愛媛で取り組んでいきたい旨の答弁がありました。

第3点は、えひめ国体リハーサル大会への準備状況についてであります。

このことについて一部の委員から、来年度からはリハーサル大会も始まり、本大会に向けた最終調整時期となるが、準備状況はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、リハーサル大会は、競技会運営能力の向上を図るとともに、県民の競技に対する理解と関心を高めて、国体開催気運の醸成を図るために、各競技につき1回を限度に開催されるものであるが、大会規模は参加者・競技役員等が国体を上回らないなどの基準を定めた「競技別リハーサル大会開催基準要項」に基づき、リハーサル大会を実施しないゴルフを除く35競技においてリハーサル大会の候補となる競技会の調整を終え、来年度開催分については、今月末頃には、リハーサル大会の承認をすることとなっている。

また、リハーサル大会では、ボランティアにも参加いただきながら、本大会に向けて準備をしていただきたいと考えている旨の答弁がありました。

このほか、

- ・マイナンバー制度導入に向けた対応
- ・県税収入の傾向と県債、公債費の状況
- ・今後の予算配分等の考え方
- ・地域おこし協力隊の導入状況と定住支援
- ・松山空港のアクセス向上に係る検討状況
- ・えひめ国体・えひめ大会の盛り上げ
- ・市町競技施設の整備状況
- ・えひめ国体の宿泊・輸送対策

などについても、論議があったことを付言いたします。

最後に、請願について申し上げます。

当委員会に付託されました請願10件については、いずれも願意を満たすことができないとして、不採択と決定いたしました。

以上で報告を終わります。